



“感謝を込めて”

HIROSHIMA

The 366th
Subscription Concert

SYMPHONY

Fri Jan 20 2017
Start 18:45 (Open 17:45)

ORCHESTRA

広島交響楽団 第366回定期演奏会

2017 **1.20** 金 18:45開演(17:45開場)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:小林 研一郎
Ken-ichiro Kobayashi



ヴァイオリン:アレクサンドラ・スム
Alexandra Soumm



血統の証し

シベリウス

ヴァイオリン協奏曲ニ短調 Op.47

Sibelius: Violin Concerto in D minor Op.47

チャイコフスキー

交響曲第3番ニ長調 Op.29「ポーランド」

Tchaikovsky: Symphony No.3 in D major Op.29 "Polish"

チケット(税込/全席指定): S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:65550)・チケットぴあ(Pコード:288-697)・中国新聞社読者広報部中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日:一般プレイガイド 2016年11月20日(日) / 広響事務局 2016年11月21日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

プレミアム協賛 /  セントラルエンテイ 西広島開発株式会社

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社、月刊ウェンディ 出版局



広響公式ホームページ ▲

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL : 082-532-3080 E-mail : info@hirokyo.or.jp HP : http://hirokyo.or.jp

血統の証し

シベリウスとチャイコフスキー、ご存知の通り
それぞれの国(フィンランドとロシア)を代表する作曲家です。
その体に流れる民族の血統が名作を生み出す
大きな原動力である事も皆様周知の通り。
炎のマエストロこと、小林研一郎の指揮と、コバケンイチオシ
炎のヴァイオリニスト、アレクサンドラ・スム。
二人の熱い演奏にご期待ください。



指揮: 小林 研一郎 Ken-ichiro Kobayashi

東京藝術大学作曲科および指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。"プラハの春"、"アテネ"、"ルツェルン・フェスティバル"等、多くの音楽祭への出演やヨーロッパの一流オーケストラを多数指揮。東京都響、読売日響、日本フィルのヨーロッパ公演の指揮者、国際指揮者コンクール審査員、都響正指揮者、東響客演指揮者、京都市響常任指揮者、ハンガリー国立響音楽総監督・常任指揮者、チェコ・フィル常任客演指揮者、日本フィル音楽監督、マタヴ・ハンガリー交響楽団首席客演指揮者、アーネム・フィル常任指揮者などを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章(民間人としては最高の勲章)、2010年にはハンガリー文化大使の称号を授与される。2011年文化庁長官表彰を受け、2013年秋の叙勲では旭日中綬章が授与された。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィル桂冠指揮者、読売日響の特別客演指揮者、九響の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、長野県「芸術監督団」音楽監督、東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授などを務める。



ヴァイオリン: アレクサンドラ・スム Alexandra Soumm

近年活躍目覚ましいヴァイオリニストの一人。これまでに、パリ管、ロンドン・フィル、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、ロサンゼルス・フィル等と、ヘルベルト・ブロムシュテット、ネーメ・ヤルヴィ、トウガン・ソヒエフ、リオネル・ブランギエ、レナード・スラットキン等の指揮者と共演している。また、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、メクレンブルク＝フォアポンメルン等の音楽祭にも登場し、過去10年にわたりスイス・小澤征爾国際アカデミーに参加した。

Clavesレーベルより、2008年にブルッフとバガニーニの協奏曲を、2010年にグリーグのソナタをリリース。モスクワ生まれ。5歳よりヴァイオリンを学び、その後ウィーンでボリス・クシュニールに師事。2004年若手音楽家のためのユーロヴィジョン・コンクール第1位を獲得。現在はパリを拠点にしている。

使用楽器は、以前レオニダス・カヴァコスが演奏していたJ.B.ガダニーニ(1785年製、フローリアン・レオンハルト商会より貸与)。

次回演奏会

2017 2.26日 第367回定期演奏会

広島文化学園HBGホール
15:00開演(14:00開場)

ロマンの謳歌

メンデルスゾーン 序曲「美しいメルジーネの物語」Op.32

リスト ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124/R.455

シューマン 交響曲第1番 変ロ長調 Op.38「春」

18世紀末、ヨーロッパを中心に文学や美術から端を発した「ロマン主義」運動は瞬間に音楽の世界に広がり、芸術分野の中で最も長期に繁栄した思想となりました。今回はドイツロマン派からの三作品を、ドイツ期待の新鋭シュルトの指揮で、1985年、ブーニン優勝に沸いたショパン国際コンクールでセンセーションを巻き起こした鬼才ゲキチの登場です。

〈指揮〉クレメンス・シュルト 〈ピアノ〉ケマル・ゲキチ

あなただけの
マイシート

後期(1月~3月)定期会員募集中

全3公演
定期3公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円

お申し込みは広報事務局までお電話ください。
(2017年1月19日まで受付)